

# 製剤種差検討会

「製剤設計における種差の問題検討会」

## 第5回 事例報告会

日時：2018年2月23日（金）10:00～17:50  
会場：帝京大学板橋キャンパス 3F講義室

2016年4月に発足した製剤種差検討会での事例報告は今回で5回目を迎えました。過去最多となる44団体から93名が参加し、5例の事例報告と総合討論がなされました。これまでに引き続き、今回も非常に白熱した議論が交わされ、盛況のうちに会を終えることができました。



▲開会あいさつ  
菊池寛先生（エーザイ）



▲山本俊輔先生  
（武田薬品工業）



▲木本尚宏先生  
（日本たばこ産業）

### 事例報告① 山本俊輔先生

- *In vitro*および*in vivo*皮膚透過評価系のヒト外挿性検討

### 事例報告② 木本尚宏先生

- 難溶性酸性塩化合物製剤の経口吸収性比較

### 事例報告③ 宮田憲一先生

- イヌを用いた経口徐放製剤のPK評価：ヒトへの外挿性

### 事例報告④ 宮崎義一先生

- 経口徐放性製剤の吸収性における種差（イヌ及びヒト）について

### 事例報告⑤ 松本陽子先生

- ドキシルの臨床現場での使用経験



▲宮田憲一先生  
（大塚製薬）



▲宮崎義一先生  
（杏林製薬）



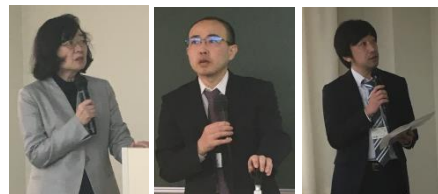
▲松本陽子先生  
（東京大学医学部）



▲閉会あいさつ  
山下伸二先生（摂南大学）



多くの参加者から積極的な意見や質問が  
発せられ、活発な議論が交わされました。



事例報告ファシリテーター、  
総合討論進行役の先生方

第6回事例報告会は7月に開催の予定です（開催地：京都）。

レイアウト：  
辛島 正俊（武田薬品工業）  
村野 美佳（大日本住友製薬）